

報道関係各位

2015年12月3日

ソニー株式会社

ソニーの新規事業創出プログラムから生まれた「MESH」、インターネット上のサービスやスマートデバイスとの連携拡大

MESH プロジェクトは、さまざまなインターネット上のサービスやスマートデバイスをつなげるサービス「IFTTT」への対応を発表しました。MESH アプリ上で IFTTT とつなぐことで、難しい電子工作の知識やプログラミングの知識がなくても、「あったらいいな」と思う IoT（モノ・コトのインターネット化）を活用した仕組みをかんたんにつくることができます。

子どもでも大人でもかんたんに「あったらいいな」を実現できる、MESH のつくる楽しさがさらに広がります。



MESH アプリに新たに加わった IFTTT 連携機能によって、インターネット上のサービスから送られてくる通知によって LED タグを光らせたり、MESH タグのセンサーが反応した時にインターネット上のサービスに情報を送信したり、人の動きや明るさ、温度・湿度など空間の情報とインターネット上のサービスを連携させた仕組みをユーザの手でかんたんに実現することができます。この最新版の MESH アプリは、本日より App Store からダウンロードが可能です。詳しくは MESH 公式サイト（<http://meshprj.com/jp>）をご覧ください。

■使用例

スマートフォンへの通知機能との組み合わせ

スマートフォンへの通知機能とボタntagを組み合わせ、受付の不在時にボタンを押してもらおうとスマートフォンに自動的に通知が送られる仕掛けをつくることができます。また、人の動きを検知できる人感タグと組み合わせて、人がタグの検知エリア内（目安として2~3m以内）で動いた時に通知を受けるといったようなことも実現できます。



使用例：スマホ連携デジタル呼び鈴

ライフログやコミュニケーションツールとの組み合わせ

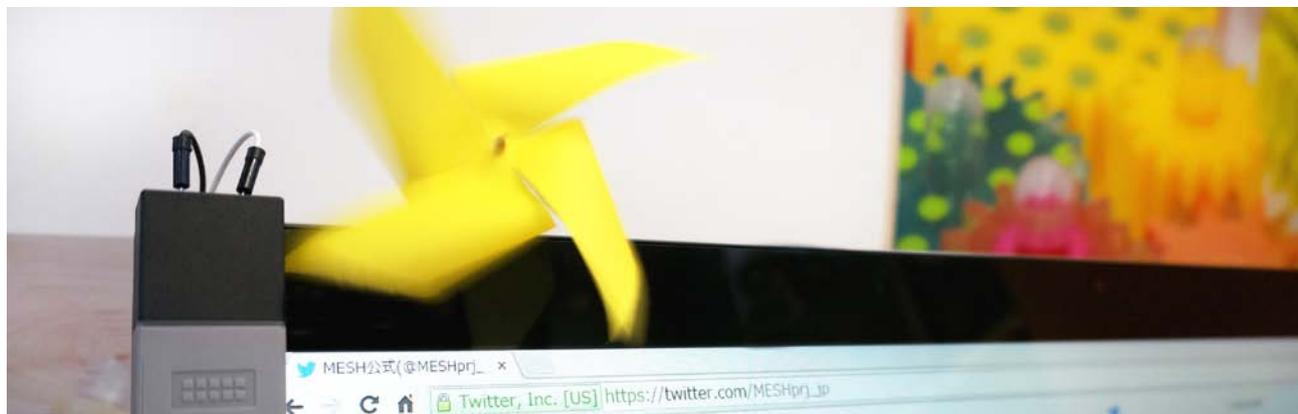
Google スプレッドシートなど記録が行えるインターネット上のサービスと、動きを検出できる Move タグを組み合わせ、タグの向きによって「工作中」「休憩中」などあらかじめ設定した内容を自動で記録するサイコロ状のおもちゃをつくりライフログをつける、といった仕掛けが出来ます。Slack などチームコミュニケーションツールと組み合わせて、遠隔地で仕事をしている仲間に在席状態を共有する仕組みもかんたんにつくれます。



使用例：向きを変えるだけでかんたんライフログ

Twitter など SNS サービスとの組み合わせ

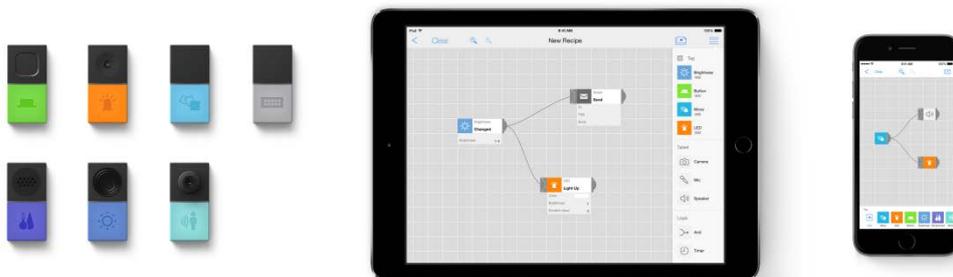
Twitter でフォローされたときに風車が回るなど、インターネット上のサービスから受ける通知を物理的な動きに変えることもできます。インターネット上のさまざまな情報を生活の中に身近に感じられる仕掛けをつくることができます。



使用例：情報かざぐるま

■最新版 MESH アプリは日本語にも対応

MESH アプリは iPad、iPhone、iPod Touch に対応しています。iOS8.0 以降を搭載した iPad（第 3 世代）、iPad mini、iPhone 4S、iPod Touch 第 5 世代 以降で作動します。好評発売中の 7 種類の MESH タグは、対応する端末上のどのアプリでもご利用いただけます。また、今回アップデートしたバージョンから日本語にも対応いたしました。



◆◆製品の主な仕様や詳細は、下記 URL をご覧ください。◆◆

MESH 公式サイト

<http://meshprj.com/jp>